

平成21年台風第18号による災害の対応等について

1 大雨の状況

9月29日に発生した台風第18号は、8日5時過ぎに、愛知県知多半島付近に上陸。その後、東海地方、関東甲信地方、東北地方を縦断。9日には暴風域を保ったまま北海道の南を東北へ進んだ後、15時に千島近海で温帯低気圧となった。この台風による雨量（24時間降水量）が多い主な地域は次のとおり。（気象庁情報）

和歌山県	色川	365.5ミリ	奈良県	日出岳	325.0ミリ
三重県	尾鷲	252.0ミリ	福島県	富岡	259.0ミリ

2 山地災害及び被害の状況

三重県で93箇所、奈良県で27箇所、大阪府で18箇所、福島県で16箇所、和歌山県で15箇所、岩手県で14箇所、宮城県で10箇所などの山地災害が発生（12月10日現在）

本台風により、宮城県、埼玉県、和歌山県において、死者5名の人的被害が発生（11月18日現在、消防庁情報）

3 主な対応状況

林野庁(治山課)に災害情報連絡室を設置（10月7日15:00）

これまでに、5箇所、事業費158百万円（岩手県2箇所、事業費94百万円、奈良県2箇所、事業費46百万円、三重県1箇所、18百万円）について災害関連緊急治山事業を採択

これまでに、三重県において1箇所、工事費33百万円について治山施設災害復旧事業を採択